

「ガラス産業連合会新年会」報告

Report on the New Year Party of Glass Industry Conference of Japan

(社)ニューガラスフォーラム事務局
NEW GLass Forum



(左から、硝子繊維、電気硝子、硝子製品、板硝子、ガラスびん、フォーラムの代表)



(門松正宏 GIC 会長)

去る、1月23日(火)の16:00から、板硝子協会、(社)日本硝子製品工業会、日本ガラスびん協会、電気硝子工業会、硝子繊維協会、(社)ニューガラスフォーラムの6団体で構成するガラス産業連合会(Glass Industry Conference)の新年会が、青く澄んだ寒天の下、大手町の東京會館で開かれました。昨年までは“GIC 合同新年会”と、“合同”が付いた名称でしたが、GIC 理事会の議を経て、今年から合同を除いた名前となりました。

当日は、門松・GIC 会長(旭硝子社長)挨拶、経済産業省製造産業局・照井次長の祝辞(局長の代理出席)、平尾・京大教授の乾杯で始まり、17:30に堤・GIC 理事(日本耐酸壘工業社長)の中締めで散会しました。

来賓は、喜多見・住宅産業窯業建材課長、前田・日用品室長、山根・東工大名誉教授、牧島・北陸先端大副学長、野上・名工大教授、一ノ瀬・前早大教授などの参加をいただきました。GIC 会員からは99社が参加し、これにプレス関係

11社などを合わせて、産・学・官・団体・報道から過去最高の約450名が参加した、賑やかで和やかな会となりました。今回で6回目となるこの会は、ガラス業界にとっての新年の風物詩として定着したようです。照井次長は帰り際に、「会に勢いが感じられますネ」と洩らされたそうです。また、参会者は最後まで歓談される方が多く、義理で顔を出しただけで早々と帰る人は極めて少ない事も、事務局としてはうれしい事でした。

門松・GIC 会長の挨拶の概要は、以下のようでした。

「・・ガラス業界におきましては、原材料、燃料価格の上昇が、依然先行きになお樂觀を許さず、原料インフレ・製品デフレのトレンドの中で今後も厳しい見方をする必要もあろうかと思えます。ガラス産業連合会は環境問題を始め、ガラス産業の共通課題について各委員会でも熱心に取り組んでいますが、本日、その一部をここ

でご紹介いたします。

その第 1 が「欧州ガラスリサイクル調査報告」の発刊です。

連合会の中の環境広報部会がガラス業界全体としてのリサイクル推進という課題に向けて海外視察を昨年、行いました。

環境先進国である欧州のガラスリサイクル事情を東京大学の清家先生に団長になっていただき、板ガラス・ガラスびん・電気ガラスの各分野にわたって調査し、昨年 10 月に調査報告として纏め発刊し、幅広い分野から 100 名を超す皆様のご参加をいただき報告講演会を開催しました。

第 2 は連合会として温暖化対策の自主行動計画と RoHS (ローズ) 規制対応として鉛、カドミウム、クロムの微量成分分析のマニュアルを昨年公表しました。

温暖化対策につきましては参加 4 団体 (板硝子協会、硝子繊維協会、電気硝子工業会、日本ガラスびん協会) が連合会として CO₂ 排出量を 2010 年に 13% 削減するというもので、今後連合会としての取り組み報告を行っていきます。

微量成分分析に関しましては今後連合会として JIS 及び国際規格化に向けて対応していきます。

第 3 に 21 世紀の先端技術として期待される

「ナノガラス」への取り組みについて、社団法人ニューガラスフォーラムが中心となり精力的な取り組みを行っております。

三次元光デバイス高効率製造技術への取り組みや、ガラスの原料を溶かす時間を従来の 10 分の 1 以下にする省エネルギーガラス溶解技術プロジェクトの推進などのナショナルプロジェクトに対し、連合会として今後も全面的に支援し成果を出して行きたいと思っております。

昨年 7 月の連合会総会におきまして、本日もご参席の平尾一之 (ひらお かずゆき) 京都大学教授から「ガラスには未来と夢がある」というご講演を頂きました。

その中でガラス材料にはたくさんの新しい可能性があるというお話しをお聞きしました。

わが国のエネルギー事情や環境問題が深刻化する中で、ガラスがいつまでも安全で良い材料であること、そして更なるイノベーションが期待されることを改めて心に刻み、当連合会への期待の強さと、連合会としての使命実現に対する思いを強く感じたことは皆様もご一緒だと思います。

この 1 年を、安倍新政権の掲げる「美しい国、日本」の構想に、ガラス産業連合会として貢献していく志を強く持ち、ガラス業界を背負って立つ皆様と共に、この夢に向かってしっかり取り組んで行きたいと思っています」



(照井恵光製造産業局次長)



(約 450 名の参会者)